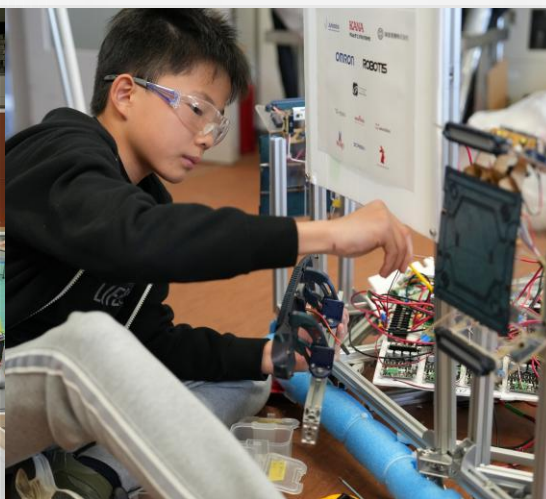




一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 ご紹介と協賛のご案内





“挑戦的共創人材”を育成する

技術を常に学び続け、周囲と力を合わせながら困難に挑み、技術でより良い未来を共創できる人材



未知に挑み続ける

新しい技術やアイデアを常に探求し
失敗を恐れず大胆に行動しよう

継続で壁を打ち破る

情熱の下に、粘り強く問題に挑もう

あらゆる挑戦を楽しむ

困難な状況で常に全力で楽しみ、
仲間とその楽しみを分かち合おう

協力してより高みへ

違いを認め合い、互いを尊重し、
協力することで高みを目指そう

学びで世界を変える

学び続けることで強みを伸ばし
視座を高めてより良い世界を共創しよう

未来へつなげる

チームやエンジニアコミュニティの
継続的発展のために行動しよう

人・技術へ誠実に

誠実で信頼される人となり、
公正かつ真摯に技術と向き合おう

挑戦的共創人材育成プログラムの創出



本機構の狙いは、エンジニア選手権を軸に子ども・大人に限らず初学者も参加しやすく、また現役エンジニアも生涯参加することができ、エンジニアリングを学び続け、“挑戦的共創人材”を輩出する全世代教育プログラムを創出することです。また、本機構が進める、小中学生がチームでの大型ロボット製作に挑む地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”を合わせて全国展開することで、エンジニア選手権に参加する子ども達を増やし、挑戦的共創人材の育成に挑みます。





挑戦的共創人材のたまごを育てる地域ロボット部活動

エンジニア育成を地域部活動化

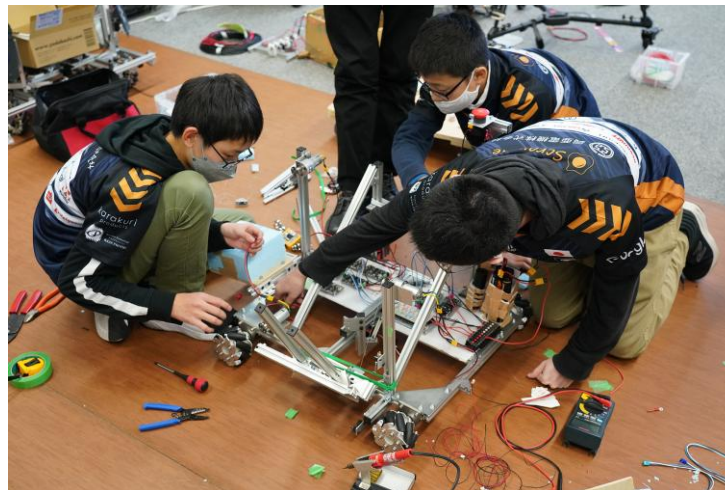
月2回8ヶ月程度、地域から小中学生が集まって大型ロボット製作に挑む場を様々な地域に創出（現在6地域）

チームでロボットを作り上げる

6人程度で1チームを作り、各自が学びたい分野ごとに担当者を分けて分担し、チームワークを育む

同世代・多世代交流の中で学ぶ

本機構主催のエンジニア選手権に出場、共通のロボット作りを通じて多世代交流の機会を与える

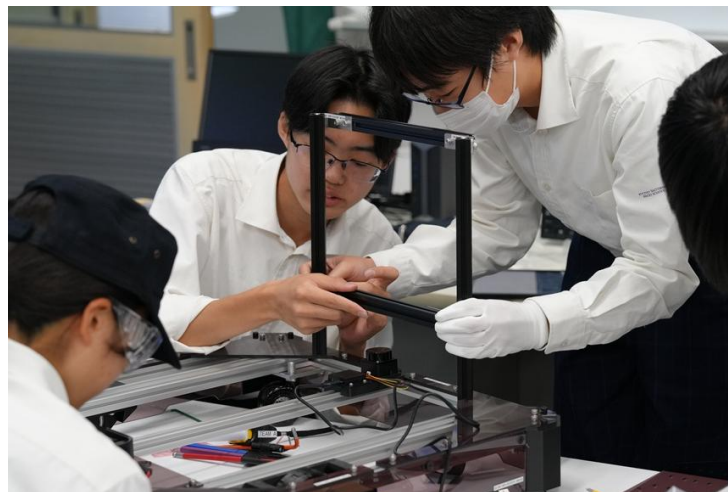




挑戦的共創人材を既存の教育機関の中で広く育てる

探究学習の授業で利用可能な教材

本格的な部材を使いながらも初心者でも扱えるロボットであり、分野外の教員も説明できるテキスト・補助資料を整備中



最新のロボット技術を学べる教材

配膳ロボットや自動運転車などに繋がる技術を触れることができ、一方でゲーム性も高く楽しめる教材を提供



地元産業界との接点を作る

地域在住のエンジニアがメンターとして授業や課外活動に参加する仕組みを作り、地元産業を知る場を作る



次世代のロボット競技の中で挑戦的共創人材を育成する

エンジニア育成のための選手権

エンジニア個人とチームに焦点を当て、
当日のロボット競技の結果だけでなく
様々な観点で能力を測り育成を図る

共創することで高みを目指す

負けたチームが勝ったチームに加わり、
協力して次の試合に挑む同盟要素を採用し、
チーム間の共創を促す競技設計

次世代のロボット競技

ロボットを一人称視点で操縦し、連携して
相手を倒し合う、誰もがやってみたくなる
e-sportsのようなロボット競技



エンジニア選手権には専用のスポンサープラン・機器展示プランがございます。
詳細は右よりご覧ください。 <https://core.scramble-robot.org/sponsor-info/>



一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構（通称Scramble）は、これからの日本を牽引するエンジニアのたまごを地域から育成する、ロボット競技会を人材育成・発掘の場として最大限に活用する、の2つをミッションに掲げています。次世代のエンジニア“挑戦的共創人材”を育成、輩出するためのエンジニア選手権CoREの主催、また挑戦的共創人材のたまごを地域から育成するための地域ロボット部活動“ジュニアロボットチーム”、普通科高校でロボット・AIの最先端に触れるロボット・AI教材提供、の3つの事業を主に展開しています。

一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1 けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org



役員一覧



代表理事
川節 拓実 博士（工学）
京都大学 准教授



理事
高橋 智也
トヨタ自動車株式会社
生産設備制御エンジニア



理事
水野 海渡
DMG森精機株式会社



監事
鮫島 功路
株式会社ダイフク
生産設備システムエンジニア



理事（副代表）
小林 憲人
株式会社ティアフォー
ハードウェアエンジニア



理事
長沼 孝仁
株式会社日音



監事
小林 雄一郎
精華町立精華西中学校
技術科教員

ご協賛のご案内





①次世代を担う子ども達を育成する企業として社会貢献頂けます

本機構は、ジュニアロボットチームや高校生へのロボット教材提供などの取り組みを通じて、次世代を担う子ども達の育成事業を推進しています。科学技術が飛躍的に進歩し、技術を正しく理解し活用することが強く求められる現代において、エンジニア的素養や価値観を身につけることは子ども達にとっても必須になります。本機構への協賛を通じて、子ども達向けの高度なエンジニアリング教育基盤を全国的に普及させる事業へ貢献いただけます。社内教育のみならず、社会的に**エンジニアのたまごの育成に貢献していることをエンジニア界隈にアピール**いただけ、**SDGs目標達成にも資するCSR（企業の社会的責任）活動に注力**されていることを子ども達や保護者含め幅広い層にアピールいただけます。





②学生・現役エンジニア界隈へ貴社の効果的なPRが図れます

本機構はジュニアロボットチーム、FA設備技術勉強会など、子どもから現役のエンジニアとして働く幅広い世代の優秀なエンジニア、そのたまごが多数参加するイベントを主催しています。また、本機構が提供する学生ロボット競技チーム支援事業では毎年多くの熱意ある学生チームからの応募をいただいています。これらの方々には、技術に触れて学ぶことが楽しく好きで仕方ないような、**自発的かつ意欲的に技術を磨き続けられる人材**が多数います。このような人材と関係性を作れるのは貴重な機会であり、従来の就職・転職活動では発掘できない、マッチングしない人材に出会えることもあるため、**新たな採用のチャンス**につなげて頂くことができます。さらに、本機構で科学技術の未来を考え行動している構成員の大多数がエンジニアリングを学ぶ学生、もしくは若手エンジニアであり、外部のみならず機構内の優秀な若手に対する貴社アピールにもつながります。





ご協賛種別 金額	Scrambleパートナー 100万円	ダイヤモンド 50万円	ゴールド 25万円	シルバー 10万円
Webページへ貴社名、ロゴ掲載	大ロゴ	中ロゴ	小ロゴ	小ロゴ
配付資料への貴社名、ロゴ掲載	大ロゴ	小ロゴ	文字のみ	文字のみ
活動報告書のご提供、活動報告会へご招待 ^{※1}	○	○	○	○
エンジニア選手権でのVIP座席へのご案内 ^{※2}	○	○	○	○
ユニフォームへ貴社ロゴ掲載 ^{※3}	特大ロゴ3地域、 もしくは大ロゴ6地域まで	大ロゴ4地域まで	中ロゴ3地域まで	小ロゴ3地域まで
ユニフォームのご提供 ^{※3}	最大3着	最大2着	1着	1着
ロボットへ貴社ロゴ掲載 ^{※4}	特大ロゴ3地域、 もしくは大ロゴ6地域まで	大ロゴ4地域まで	小ロゴ3地域まで	—
Scrambleグッズのご提供	2種3点ずつ	2種2点ずつ	—	—
各種イベント時に貴社PR資料配付	○	○	—	—

スポンサー費は消費税の課税対象外で、別途消費税を申し受けることはございません。この表の内容等については変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。
ご不明な点がございましたらお気軽にお申し付けください。

※1 報告会は毎年8,9月頃の開催を予定しております。会場にお越し頂く際の旅費等はお負担をお願いします。

※2 本機構が主催するエンジニア選手権において支援者様限定の観戦エリアをご用意いたします。観戦エリアは1部リーグのみのご案内となります。

※3 本機構所属者がイベントなどで着用するユニフォームです。デザインの更新は11月の年1回を予定しております。ご提供数分以上をご希望の場合は有償でご購入いただけます。

※4 ジュニアロボットチームで製作するロボットに貴社ロゴを掲載いたします。



■Webページへの貴社名、ロゴ掲載

機構公式Webサイトにて貴社名、ロゴをスポンサーリンクに応じて掲載致します。



パートナー
大

ゴールド
小

ダイヤモンド
中

シルバー
小

■配布資料への貴社名、ロゴ掲載

本機構がイベントなどで配布するスポンサー紹介資料に、貴社名、ロゴをスポンサーリンクに応じて掲載致します。



パートナー
大

ゴールド
文字のみ

ダイヤモンド
小

シルバー
文字のみ

※本ページの画像はイメージであり、写真は過去の実施例です。



■活動報告会へのご招待

本機構が年一度開催する、活動報告会にご招待致します。
なお、参加に要する旅費などは貴社にてご負担ください。



パートナー

ダイヤモンド

ゴールド

シルバー

■活動報告書のご提供

本機構が年一度発行する、支援者様向けの活動報告書（電子版）
をご提供致します。



パートナー

ゴールド



ダイヤモンド

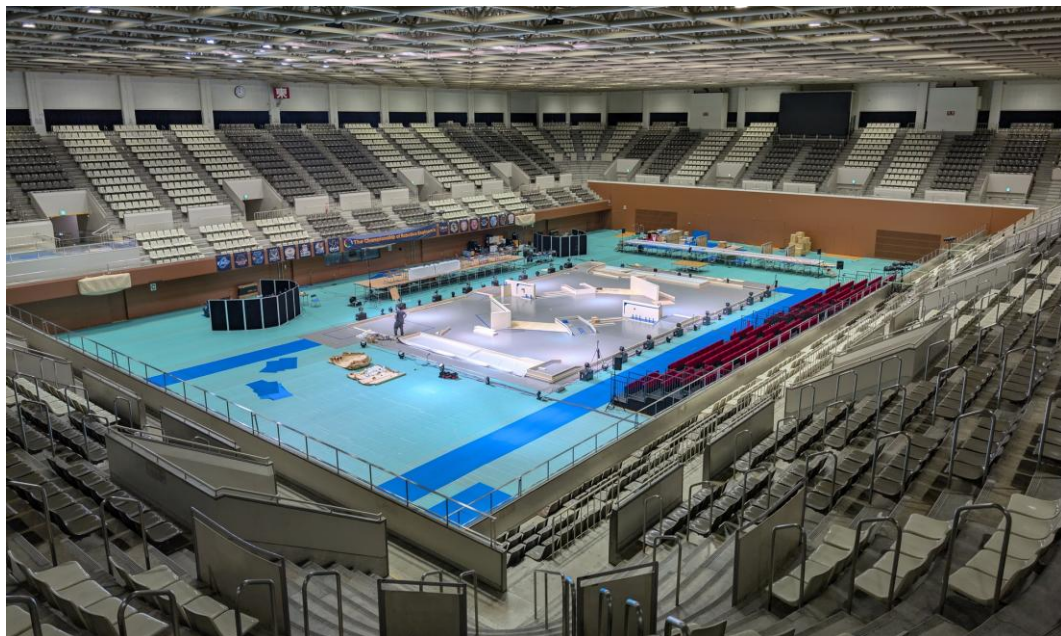
シルバー

※本ページの画像はイメージであり、写真は過去の実施例です。



■エンジニア選手権VIP座席へのご案内

選手権会場でご用意するVIP席へご案内致します。なお、会場にお越しいただく際の旅費などはお負担をお願いします。VIP座席は1部リーグのみ設置予定です。



パートナー

ダイヤモンド

ゴールド

シルバー

■Scrambleグッズのご提供

本機構が毎年制作するオリジナルグッズをランクに応じてご提供致します。



パートナー
2種3点ずつまで

ダイヤモンド
2種2点ずつまで

ゴールド
なし

シルバー
なし



■ユニフォームへの貴社ロゴ掲載、ユニフォームのご提供

本機構がイベントなどで着用するユニフォームへ貴社ロゴを掲載します。また、プランに応じてユニフォームを無償提供（有償での追加購入も可能です）致します。ユニフォームは年1回、11月頃にデザイン更新予定です。



2024-25年度京都府デザイン例



2024-25年度大阪府デザイン例



2024-25年度東京都港区デザイン例

パートナー
特大ロゴ3地域まで
もしくは大ロゴ6地域まで
(最大3着まで無償提供)

ダイヤモンド
大ロゴ4地域まで
(最大2着まで無償提供)

ゴールド
中ロゴ3地域まで
(1着無償提供)

シルバー
小ロゴ3地域まで
(1着無償提供)



■ ロボットへ貴社ロゴ掲載

ジュニアロボットチームが製作するロボットへ貴社ロゴを掲載致します。



パートナー
特大ロゴ3地域まで
もしくは大ロゴ6地域まで

ダイヤモンド
大ロゴ4地域まで



ゴールド
小ロゴ3地域まで

シルバー
なし



■各種イベント時に貴社PR資料配付

本機構主催イベントや出展イベントでご希望の資料を本機構のパンフレットと一緒に配布致します。



パートナー

ダイヤモンド

ゴールド
なし

シルバー
なし

※本ページの画像はイメージであり、写真は過去の実施例です。



一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構

スポンサー担当：川節

〒619-0294 京都府相楽郡精華町精華台7-5-1けいはんなオープンイノベーションセンター201号室

TEL：090-7495-3763（代表直通）

E-mail：info@scramble-robot.org

【振込先情報】

銀行名：京都銀行（0 1 5 8）

支店名：精華町支店（3 0 5）

口座種別・番号：普通 4 0 4 1 1 2 5

口座名義：一般社団法人次世代ロボットエンジニア支援機構 代表理事 川節拓実

※スポンサーは年間スポンサーで、いつでもお申し込みいただけます。



弊機構の取り組みは下記SNSやwebサイト等をご覧ください

公式Webサイト

<https://scramble-robot.org/>

メールアドレス

info@scramble-robot.org

公式Xアカウント

https://x.com/Scramble_JPN

公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/ScrambleRobocon/>

公式YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@scramble-robot>

